

## “生きたお金の使い方”

春とは名ばかりの3月初め、北鎌倉を起点に古寺を巡る“歩こう会”に始めて参加いたしました。異業種交流会の気心知れた仲間が集まった気楽な会です。

3番目に訪れたのが円応寺、それはまさにディープインパクトでした。

目の前に現れた巨大な閻魔大王との遭遇、舌を抜かれるのか？血の釜に入れられるか？と一瞬、自分の生き様の善悪を問いただし、身じろぎしてその場をそそくさと去りました。

それより2週間程前、キャノンの御手洗社長の講演を聞きました。

テーマは「生きたお金を使う経営者だけが、この大不況を乗り切れる」でした。

先見性と経営理論、経営資源の有効活用等を、エピソードを交えてお話になり、大変勉強になった素晴らしい講演でした。

しかし何分にも、スケールが大きく、グレードも高くして私にはどうもピンと来ませんでした。いったい「生きたお金を使う」とはどういう事なんだろう。

それからずっと頭から離れませんでした。

話を鎌倉に戻します。10人ほどの初老の仲間と北鎌倉の駅で待ち合わせ、鎌倉街道を“いざ鎌倉へ”と歩きだしました。コース設定は鎌倉のもっとも一般的なコースです。まずは円覚寺、東慶寺しばらく歩いて、冬のままの静かなたたずまいの明月院、そして今回の一番のハイライト、雪の残る杖突山道を歩いて建長寺の北門から入りました。今話題である頼朝、義経の鎌倉幕府の栄華を偲ぶ数々の史跡に、しばらくは疲れを忘れました。歴史をよく勉強している仲間の説明を聞きながら、歴史の中を歩いてきました。そして前記の円応寺にて閻魔大王との対面、最後に栄華を誇る鶴岡八幡宮に到着しました。

ふと見ると山門の脇に地図を売るおばちゃんがいる、記念にと思い、買う事にした。

「おばちゃん地図いくら？」・・・「200円だよ」

「はい」・・・「ありがとう」

地図を受け取って、みんなの方に行こうと歩き出した時、おばちゃんが

「お客さん・・・・・・・・これお費銭に使ってあげて！」と、50円玉を差し出しました。

“ガーン”

こういう事が “生きたお金を使う” という事なのかと。

納得して払った200円、うれしくて感動した50円、全て私の財布の中の出来事なのに！

うれしくて感動した50円は紛れもなく生きたお金の使い方だと思いました。

帰り道、北鎌倉の駅前で同じ地図を150円でおじさんは売っていました。

残雪の北鎌倉古寺巡礼は大変な勉強と思い出になりました。

ある時も ない時も

“いつも にこにこ そわか” 良寛

東洋マシナリー株式会社 鈴木 志郎

TEL03-5480-2660 fax03-5480-2661

mail; ss-@tmc-web.com http://tmc-web.blogdehp.ne.jp/